



岡井 馨一郎 議員

問 南黒田工業団地の整備事業の経過と今後の予定は。

答 平成16年に地権者から同意を得て工業団地の開発について伊予市と協議を行ったが、近隣住民から諸々の懸念が示され、平成22年に進出予定企業が撤退するに至った。しかし、工業団地による土地利用が適していると結論し、平成28年に対策案がまとまり隣接する住民への対応を続け、令和2年度にまちづくり課に都市計画室を設置し事前協議を行った。

令和3年度に行った県内企業への調査で立地を見込まれる企業が5社あり、今後は関係法令の手續を経て工事に着手し、令和9年度末には完了させたい。

意見 地権者も高齢化しており予定どおりの完成を心より望む。



熱戦が繰り広げられた「まさきカップ」

問 ホッケーの町づくりのための普及と発信は。

答 現在、実施中の学校のクラブ活動や放課後子ども教室でのホッケー体験を通じ、競技に取り組む児童・生徒を増やしていきたい。今後はプラスチック製スティックや柔らかいボールを使用し、健康増進にもつながるよう幅広い年代に普及することを研究したい。

毎年3月に西日本の中学生による「まさきカップ」を開催。伊予高校女子ホッケー部は創部一年目で全国大会に出場。男子ホッケー日本代表の強化合宿等、イベントや大会を開催し、競技力の向上と普及に努めながら「ホッケーの聖地松前町」を目指していきたい。



西村 元一 議員

問 松前町の焼却ゴミが4月から、伊予市の三秋から、松山市の西クリーンセンターに変わりますが、事業系一般廃棄物の計量を、三秋と西クリーンセンターで計量？なぜ西クリーンセンターの1か所で処理できないのか。

答 関係機関と協議を重ねた結果、事業系一般廃棄物は中継施設では計量を要せず、車両確認のみを行った後、松山西クリーンセンターに持ち込むことを松山市が承諾した。伊予地区清掃センターや伊予市と協議し、中継施設を松前町の不燃物置場とすることが決定した。現在、4月1日から実施できるよう関係機関と調整している。



問 庁舎前駐車場の出入口の改善は。

答 庁舎前駐車場の出入口は、昨年の12月議会において提案された入り口と出口を別々にし、県道の車道と歩道の境界部分の傾斜についても、工事に向けた設計作業を行っている。